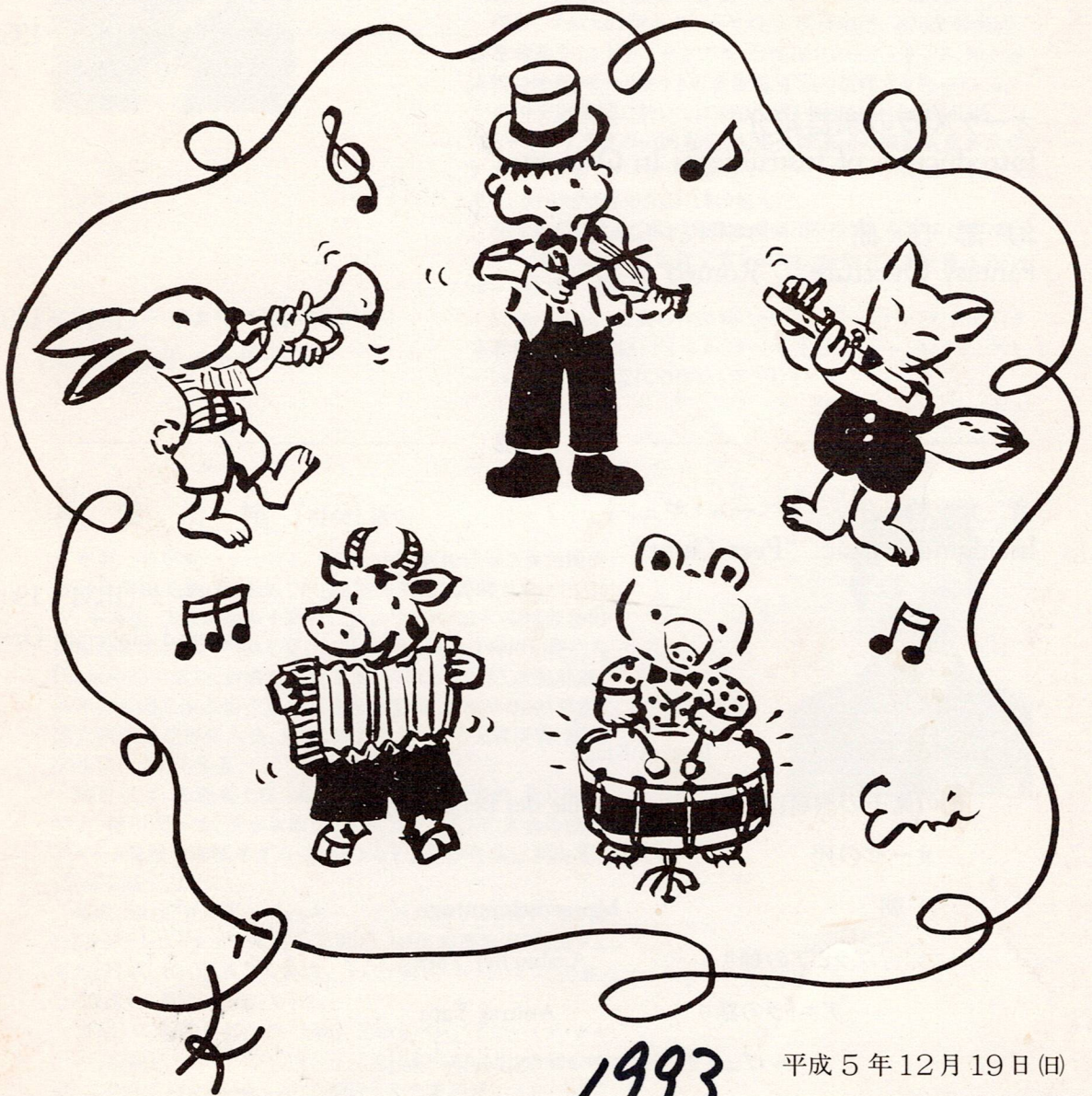


平成5年市川市文化祭  
第236回 市 響

1993.12.19

# ファミリー交響楽コンサート



1993

平成5年12月19日(日)

午後2時 開演

市川市文化会館大ホール

主催 市川市教育委員会 千葉県教育委員会 市川交響楽団協会



# 本日のプログラム

指揮 津田 雄二郎 管弦楽 市川交響楽団  
独唱 近藤 千加枝 合唱 市川交響楽団協会合唱団  
司会 神田 山裕

情景的間奏曲 「ペルシャの市場にて」  
Intermezzo Scene "In a Persian Market"

ケテルビー (1875-1959)  
Albert W. Ketelby

オーケストラの楽器紹介  
Introduction of Instruments In Orchestra

幻想序曲 「ロメオとジュリエット」  
Fantasy Overture "Romeo et Juliet"

チャイコフスキー (1840-1893)  
Peter Ilyich Tchaikovsky

休 憩

音楽物語 「ペール・ギュント」  
Incidental Music "Peer Gynt"

グリーク (1834-1907)  
Edvard Hagerup Grieg

プロローグ

Prologue

イングリッドの嘆き

Ingrids Klage

山の魔王の洞窟にて

In der Halle des Bergkonigs

オーゼの死

Ases Tod

朝

Morgenstimmung

アラビアの踊り

Arabischer Tanz

アニトラの踊り

Anitras Tanz

ソルヴェイグの歌

Solvejgs Lied

ペールの帰郷、難破

Peer Gynts Heimkehr

讚美歌(祝福の朝なり)

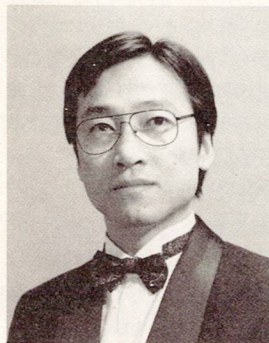
Gesang der Kirchganger

ソルヴェイグの子守歌

Solvejgs Wiegenlied



## 出演者紹介



つだ ゆうじろう  
津田 雄二郎 (指揮)

東京芸術大学器楽科1980年卒、米国カーチス音楽院に留学、室内楽をM.D.スチュワート(フィラデルフィア交響楽団)、トロンボーンをジョー・アレッシ(ニューヨークフィルハーモニック)に師事したほか、指揮：佐藤功太郎、大友直人 Tb：伊藤清 Vln：桑原幹子 Pf：田中健弥 作曲：小倉伸作の各師に師事。

現在、バッハカンタータオーケストラ、同合唱団、市川交響楽団、慶應義塾ウインドアンサンブル、合唱団コロルネッサンス、鎌ヶ谷高校合唱部、モーツァルト記念合唱団'93の指揮者を勤めている。

市川交響楽団に於いてはNHK交響楽団の指揮者外山雄三、ニューフィル千葉の山岡重信、九州交響楽団の黒岩英臣各氏のアシスタント・コンダクターを勤めマーラー、ブラームス、チャイコフスキー、シベリウス等の作品に取り組んだ。

86年から90年まで市川交響吹奏楽団を指揮し全日本吹奏楽コンクールにて5年連続金賞受賞を果たし、指揮者賞を受賞。CBSソニーよりCDが発売された。

近年バロック、古典の作品特にバッハ、モーツァルトの合唱付き宗教作品に力を注いでいるが、ラベル、ドビュッシー、ストラビンスキー、レスピーギ等近代の作品も手がけている。

かん だ さん ゆう  
神 田 山 裕 (司会と語り)

本名 石橋賢一(いしばし けんいち)。昭和47年千葉県国府台高等学校卒業。高校時代から話術研究部に席籍を置いていたが、卒業後、演芸評論家小島貞二氏のすすめにより、現師匠神田山陽の講談を聞き、感銘を受けた為、昭和50年9月神田山陽入門。昭和53年第2回講談奨励賞受賞、昭和55年8月二ツ目昇進、同年12月国立演芸場花形新人会金賞受賞、昭和57年1月第2回国立演芸場花形新人会、金賞、銀賞の集いにて大賞受賞、昭和60年10月真打ち昇進。

演目として、赤穂義士伝、荒木又衛門、夕立勘五郎、鼠小僧次郎吉、徳川天一坊、清水次郎長、寛政力士伝などの古典の他、リクルート講談や講談サダム・フセインなどを自作自演し、持ちネタ250席を越す。

現在、NHK「サンデージョッキー」「冗談講談」に出演中、その他にもフジテレビドラマ「あなたの女房よ」、NHK衛星放送「講談フェスティバル」、NHK「真打ち登場」、テレビ朝日「ホットライン110番」など数多くの番組に出演している。

市吹との共演は「ピーターと狼」「笛吹きパン」「タビー・ザ・チューバ」(2回)「ハーリ・ヤーノッシュ」と過去6回あります。最初の時は、二ツ目で初々しい面もあった師匠も今や講談界のスターとして高座はもちろん、テレビ・ラジオでも活躍しております。そんな多忙な師匠ですが、練習が終われば普通私達と一緒に飲み屋で反省会。師匠!!これからは市響や合唱団もよろしく!!







こん どう ちかえ  
近 藤 千加枝 (ソプラノ)

千葉県市川市出身。武蔵野音楽大学及び同大学院声楽科卒。声楽を東学・杏子、大滝雄志及びH.ベツオルト各氏に師事。同大学の定期演奏会にメンデルスゾーン曲、交響曲第二番「讃歌」にソリストとして出演。同大学及び市川市の新人演奏会にも選ばれる。最近ではドンジョバンニにドンナアンナ役で出演し好評を博す。

現在、二期会の研究生で市川交響吹奏楽団にも在籍したことがある、市響とは縁の深い将来有望な若い声楽家です。

むら かみ まさ はる  
村 上 正 治 (団 長)

団長は、君津郡袖ヶ浦町(現・袖ヶ浦市)横田出身の牧師である村上治氏の長男として、1914年に新潟県村上町で誕生されました。明治学院中学部卒業後同校高等部商科に進学しましたが作曲希望で中退、音楽修業に専念、1935年国立音楽大学作曲部に入学して卒業後は市川小を初め中央国民学校や市川高女、市川一中、市川二中に務めながら市川文化会や市川混声、市響、市響吹奏楽、ジュニアオケ、行徳混声を結成して指導に当り、県音楽教育研究会や全千葉合唱連盟、県吹奏楽連盟、千葉交響楽団協会、県及び市川市の両芸術文化団体協議会、日本アマチュアオーケストラ連盟、全日本文化団体連合会等をも組織し、文化振興に貢献したかどで過去に市川市教育委員会、千葉県教育委員会、千葉県知事、文化庁長官の文化功労を受賞していましたが、87年秋、勲四等瑞宝賞を叙勲されました。92年4月には、第1号の市川市民栄誉賞も受賞されました。現在国立音楽大学の評議員でもあります。



## 演奏会のご案内

### 第238回 市響 室内楽の午後

平成6年3月6日(日) 午後2時開演 市川市文化会館小ホール 入場無料

♪市川交響楽団に、初の女性指揮者 石本由香利さん(ドイツ在住)を迎え、早春のひとときに爽やかな曲をお届けします。どうぞおでかけ下さい。

曲目 モーツァルト/交響曲第29番 バッハ/ブランデンブルグ協奏曲 第4番 他  
出演 指揮 石本由香利 管弦楽 市川交響楽団

問い合わせ TEL 0473(72)0258(横田)



# 本日はなしのはなし

## 〈その1〉

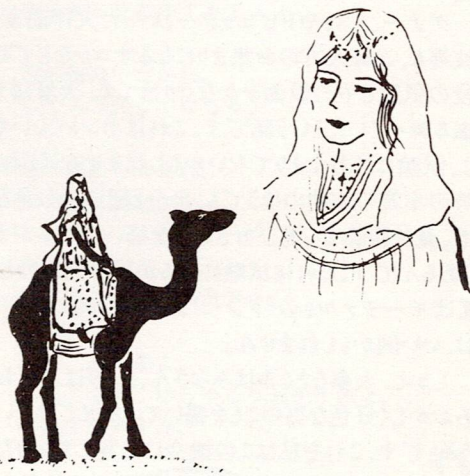
熊さん 「とざい、とーざい」  
八つつあん 「どうしたんだい熊さん、今日はめずらしく機嫌がいいじゃないか」  
熊さん 「そうなんだよ八つつあん、今日は格調高いクラシック音楽を聴きに行くんだ。八つつあんもどうだい、たまには」  
八つつあん 「熊さん、おれは難しいのは苦手なんだよ、人情ものほうがいいや」  
熊さん 「八つつあん、今日のだしものはね、ペルシャのお姫様の話とエゲレスの若者と娘の哀しい話なんだ、エゲレスのほうの話なんざーあんまりかなくて涙がいくらあってもたりねえよ」  
八つつあん 「そうかい、エゲレスにも艶ばなしがあるのかい、しらなかつた。それでどんな話なんだい」  
熊さん モンタギュー家のロメオとキャブレット家のジュリエットっていう若者どうしがおたがい好きあったのかなのに、家のちがいで結ばれねえんだ。そのうちふたりはいのちをかけて、おたがいのなかをまろうとするんだ。」  
八つつあん 「心中かい。なにわで曾根崎心中てえのがあるけど、世の東西をとわず心中てえのはなんともね。やっぱりびじんでなくてもうちのおっかあがいちばんだね。」  
熊さん 「おのろけかい。いやーあついあつい。でもね八つつあん、ロメオとジュリエットのふしまわしがみよーにもの哀しいんだよこれが。やっぱ“ちやいこふすきー”てーのはやるねえ。」  
八つつあん 「なんか熊さんにやにあわねーはなしだね。もつとばつとしたいきのいいはなしはねえのかい。」  
熊さん 「おつとどっこい、ペルシャのお姫様のほうのはなしははでだよ。そもそもペルシャてーとこは、金銀財宝がやまほどあるけど、ものごいもいっぱい

いるそうな。ものごいたちが町の市場でうたうんだ。らくだのこぶのように金がほしいって。そこへペルシャのお姫様の登場てわけ。ペルシャのお姫様てーのは、そんじよそらのべっぴんとはわけがちがう。あまりのべっぴんで声もてねえくらいだ。おれも一生に一度でいいからそんなべっぴんにおめにかかりたいもんだ。なんて考えているうちに、お姫様がどっかにいっちゃってしまっわけ。」

八つつあん 「心中もとお姫様かい、どちらもいきだねえ。じや、ちよつとおれもひやかしにでかけるか。で、八幡の文化会館てーのはどこにあるんだい。」

熊さん 「八幡のやぶ知らずのちよつとまえだから、ここからはんにちてえとこかな。」

八つつあん 「はんにちもかかるのかい。おりや気が短かいからそんなにかまてきねえよ。」



## CATV放送のお知らせ

この演奏会の模様は

# CATV9ch テレビ市川

にて年始特別番組として放送予定です

放送予定日 平成6年元旦より1月9日まで

CATVについてのお問い合わせは

フリーダイヤル **0120-11-7971**

いちかわケーブルネットワーク(株) 担当: 小山



洋の東西を問わず、男というものは身勝手にいろいろのみ、というのが相場でしょう。まあ、程度の差はあれ、男というものは幾つになってもご婦人の方々にこの、いろいろちょっかいを出したがるものでございます。「芸のためなら女房も泣かす」と流行(はやり)歌に歌われた私ども芸人はいうにはおよばず…とはいえ、私ばかりはこの世界の諸先輩のそう言った気風は見習わずに(ホントです)品行方正学力優秀、ひたすら講談界の正統派路線をつっぱしてしておりますが、聞くところによりますと、私同様品行方正で優等生揃いとおもわれているこのクラシック業界におきましても、やはり身勝手な方はいらっしゃるようで。ともうしましたものの、現代の話、そう、例えば今日登壇した顔をして並んでいるこちらのメンバーが…なんてはなしをしてしまうと、いろいろと差し障りがありますもので、昔の話をしましょう、昔の話。

有名などころでは、映画にもなったモーツァルトやワーグナー、リストやドビュッシーといった大作曲家達。彼等も、ご婦人方のお集まりになるサロンなどでは普段の気難しやの仮面をかなぐり捨てて、大層陽気に振る舞っていたという話です。これはホントらしいですよ、試験にはあんまりでないかもしれませんがね。彼等の本業の作曲のほうでも、自分と同じように身勝手に、豪放磊落で、遊び好きな男を描いた作品が意外とあるんです。これは試験に出るかもしれないけど、例えばモーツァルトの「ドン・ジョバンニ」なんていうのは、いい例かもしれません。

しかし、大事なところはみなさん、彼等はただおもしろおかしく好色な男のこゝろを描いている訳ではないということです。これを私はこの機会に力説しておきたい。さすがにこの人たちは大作曲家だけのことはあります。ただ単に女遊びにうつつをぬかしている様に思われている男の内面に、実は意外な心理や苦悩といったものが潜んでいる、そんなふかいふかいテーマがあるんです。え、なんですって。そんなこと言ったら、男がいいかっこしているだけで、そのおかげで苦勞している女の立場なんて全然考えていないじゃないの、ですって。

ところが奥さん、そういうところにも偉大な芸術家はちゃんと目を向けているんですね。それまでいたげられていた女性の地位や立場を正面からテーマとして捉え、きちんとした舞台芸術として完成させた、ヘンリック・イブセンという人がいます。この人はノールウェイ

の劇作家です。彼の作品の中では何と言っても「人形の家」が有名ですね。主人公のノラが、「妻である前に、一人の人間でありたい」といって、それまでお人形さんのようにしか扱われなかった嫁ぎ先を出ていく、というラストシーンはあまりにも有名ですが、同じ彼の作品に「ペール・ギュント」というものがあります。これは、昔から北欧を中心に言い伝えられている民話のなかの登場人物のひとりなのですが、これがひどい奴。音楽物語として取り上げられた民話の登場人物は数多くいますけれど、このペールはおそらく一番ひどい奴なんじゃないでしょうかねえ。何を隠そう、この市川で10年も前から音楽物語を手掛けている私がいうのですから間違いありません。ではどんな風にひどいのか。もう私なんて足元にも及ばないくらいひどい。なにせ、はたちすぎたといっぱしの大人になっても、自分にかつて惚れていたのをいいことに、ある娘さんをその結婚式の当日にかっさらい、そこまでなら映画の「卒業」の、あのダスティン・ホフマンみたいでかっこよかったんですが、3日でその娘をおきざりにして逃げてしまう。で、その逃げた先では山の魔王の宮殿に入り込み、早速本領を發揮して舌先三寸で別の娘に取りいつてしまう。しかしすぐに飽きて例によって逃げ出してしまうのですが、その娘が怪物のような子をだいて「あなたの子供よ」と逃げた先までおっかけてくる、という大変な場面まで用意されています。それから一旦彼は故郷に戻るのですが、今度は「アラビアで一旗揚げよう」とでていってしまうのです。あてもないのに…。こんな人、いるでしょう。家庭にいと悲劇のもとですが、会社の課長あたりがこの手のタイプだと、結構会社が楽しくなること請け合いです。さて、こんな具合に要約してしまうと、勝手のし放題で手のつけられない悪党としか思えないペールですが、なぜかこのお話は評判がいい。その理由は、主人公がひどい分だけ、相手役のヒロインが素晴らしいからなんです。この女性は、物語のはじめでペールと出会うのですが、その折りに交わした約束をずっと最後まで守って、彼を待ち続けるのですね。

そのほかにも、放蕩息子に悩みながらそれでもやさしく迎えてくれる愛情豊かな母親も登場します。そこで今日は、暴虐無尽のかげに咲く美しい花、といった感のこの女性をテーマに、お話を進めていきたいと思えます。おや、開演のベルがなりましたね。それでは一曲目、プロローグからどうぞ。



# パール・ギェント 歌詞

## 山の魔王の洞窟にて

殺せ、こいつが誘惑したのは ドブレ山の王の娘  
殺せ、殺せ、殺せ、殺せ  
(繰り返し)

## アラビアの踊り

(合唱)  
予言者来たり、吹けよ、たたけ。讃えよ、パール  
予言者のパール、偉大な人よ  
われらのテントをまもりぬ  
予言者のパール、正しくみちびけ  
われらのテントをまもりぬ  
吹けよ、たたけ。  
予言者たたえよ、笛吹け、たたけよ  
たいこをたたけよ、吹けよ、ならせ、たたけ、  
偉大な人よパール

(アニトラ)  
あなたが乗る馬は、乳色の川の白さよ、  
ひざを曲げ、頭(こうべ)を低く、  
あなたの瞳、星と光る、  
輝く力よ。その光におののく民、  
すべてを照らすあなたの光  
われらの民、おののき

彼は砂漠を越えて、宝石を身に付け  
行けば光、過ぎされば、また闇に、  
聖なる導きよ、砂漠を越えて、  
われらに人の子となり、救いの手を  
祈りの時、声もなく、  
風に流れる嘆きの声

(合唱くりかえし)

## ソルヴェイグの歌

冷たい冬も春の日も、狂おしい夏も、  
時は流れ、なにも変わらず、川面のように…  
信じている、またあえる日を。  
私だけはここで待つわ、あの時の約束だもの  
この世の神のみ守りをあなたのうえに、  
神の御前にひざまづいて、祝福を願う  
ここで待つわ、帰る日を。  
神の御許で待つのならば、私も空へ…

## 讚美歌(祝福の朝なり)

朝の光、神の教え、  
胸打つ力、愛。  
空へ届け、  
誉め、歌えよ、神の御言葉

## ソルヴェイグの子守歌

眠れ。愛し子よ。  
ゆらゆらりおやすみよ。

母の胸にいだかれ、  
いつもふたりでゆらり。

母の愛につつまれ、  
安らかに御恵みを。

母の愛は強く  
安らかに……疲れた子よ。

眠れ、愛し子よ  
さあ、さあ、ゆらゆらりおやすみよ。  
夢見ておやすみ。

## 合唱団員募集

♪市川混声合唱団、行徳混声合唱団では、初心者、経験者、男性、女性を問わず、団員を募集しています。来年、夏の平和コンサート、秋(10月2日)の合唱の集いに向け練習に励んでいます。

混声合唱の楽しみ、オーケストラとの共演の喜びをあなたも体験してみませんか。見学、お問い合わせ大歓迎です。

市川混声合唱団	練習日	毎週木曜日	午後7時～9時
	練習場所	市川公民館(JR市川駅北口 大門通り入口)	
	問い合わせ	中野かよ 0473(76)0433	
行徳混声合唱団	練習日	毎週火曜日	午後6時50分～8時50分
	練習場所	行徳公民館(東西線行徳駅より徒歩6分)	
	問い合わせ	石井省二 0473(96)2303	





# 本日の出演者

## 市川交響楽団

### 第1ヴァイオリン

生山 陽  
鈴木 薫  
鈴木 淳子  
竹内 甲  
中渡 良宏  
永田 匡  
二宮 伸雄  
◎福原 祥子  
横田佐貴絵  
横田富美子  
田淵 良子  
渡辺 昭子  
相原 美音

### 第2ヴァイオリン

石井 久雄  
石本 恵理  
岩田 徳子  
亀井 玲子  
須永 恒雄  
堤 哲児  
根守 弘和

久田しげ子  
深沢 武夫  
三木美千子  
村上 葉子

### ヴィオラ

遠藤 満里  
斎藤十一郎  
高橋 行継  
星 乗昭  
松山 俊子  
村上 賢一  
横田 行雄  
若林 繁  
渡部 玲子  
佐藤 尚子

### チェロ

倉沢 倫子  
瀬川 清  
田頭 扶  
中村 公一  
南明由美子

樋口 進  
福原 耕二  
横田 朝之

### コントラバス

池田 和正  
菊池 克彦  
鈴木 重則  
村上 信乃  
山木 和広  
李 隆子

### フルート・ピッコロ

木村 純一  
木村真論紀  
佐藤 洋行

### オーボエ

荒井 淳  
大坪 昌彦  
二村 直子  
鈴木 宏子

### クラリネット

多田 準也  
半藤 嗣人  
吉野 智久  
時田 雄

### ファゴット

小島 厚  
戸川 安道

### ホルン

河野 和正  
越塚 康央  
近藤 利昭  
嶋村 恒夫  
坂東 朋子  
藤井 茂司  
山本 恭子

### トランペット

浅岡 幹晶  
安藤 宣明  
一桝 泰一

加地 光  
新井本昌宏

### トロンボーン

久保 昭  
衆 秀樹  
野木夕起子  
梶谷 妙絵

### チューバ

富樫 浩一

### 打楽器

岩橋 正治  
丹羽 祐子  
木村 範子  
都筑 裕  
松浦 克彦

### ハープ

鷺谷 清子

### ◎コンサートマスター

## 市川交響楽団協会合唱団

### ソプラノ

阿部都志子  
石黒 淳子  
上柿 弘美  
榎本 邦子  
岡本 佳子  
戒能 昌子  
可児由美子  
蚊野 侑子  
亀尾 真理  
川又 京子  
君塚 輝美  
木村 百里  
小島こずえ  
敷浪多佳子  
清水みどり  
庄司 桂子  
莊野 良子

新保富美子  
鈴木 珠美  
鈴木 紫磨  
瀬川 麗子  
武井 みさ  
巽 篤子  
谷津 佳子  
塚本 恵子  
中野 かよ  
萩原美智恵  
橋本 晴美  
古川 智子  
前原 敏子  
松本 孝子  
村山 典子  
山田 陽子  
山本 桂子  
若狭 正子

### アルト

明戸 啓子  
安藤 慶子  
安藤 照子  
石井 淑子  
伊藤 和子  
江沢 京子  
越後 充子  
大塚美千代  
小川 洋子  
金島 優子  
線 上 恭子  
小松崎幸子  
紺谷 千春  
白取 博子  
佐藤 和子  
田辺 育  
ティナ・グライスマン

富山 清子  
内藤富士子  
野沢 正子  
野瀬富美子  
松丸美恵子  
三上 滋子  
横田久美子  
横田 玲子  
渡辺 輝子

### テノール

青木 武吉  
井関 裕義  
磯部 典雄  
今澤 慎介  
遠藤 実也  
岡野 信也  
小川 幹彦

金田 輝夫  
篠田 要衛

### ベース

石井 省二  
石川 喜美  
榎本 貞次  
大友 亀男  
加藤 芳明  
神田 春彦  
木山 弘士  
小松崎 厚  
佐藤 正義  
巽 由紀夫  
鶴田 稔  
長谷川康啓  
橋本 秀雄  
渡辺 信隆



# 市川交響楽団協会 平成6年の主な活動予定

- 1月23日(日) アマチュアオーケストラ連盟 関東甲信越クリニック 国府台女子学院  
 \* N響現役メンバーを指導者に招き、ジュニアの育成を図るクリニック
- 2月27日(日) 第237回市響 市川交響吹奏楽団コンサート 市川市文化会館  
 \* 曲目 ラヴェル/ラ・ヴァルス 他、出演 市川交響吹奏楽団
- 3月6日(日) 第238回市響 室内楽の午後 市川市文化会館  
 \* 曲目 モーツァルト/交響曲第29番、バッハ/ブランデンブルグ協奏曲第4番  
 出演 指揮：石本由香利 管弦楽：市川交響楽団
- 3月25日(金)~28日(月) 世界青少年オーケストラキャンプ 市川少年自然の家
- 3月27日(日) リバーサイド・オーケストラフェスティバル かつしかシンフォニーヒルズ  
 \* 曲目 チャイコフスキー/ロメオとジュリエット 他  
 出演 市川交響楽団(江戸川フィル、葛飾フィルと共演)
- 5月5日(木・祭) 第239回市響 市響ジュニアオーケストラ演奏会 市川市文化会館  
 \* 出演 指揮：山崎 滋 管弦楽：市響ジュニアオーケストラ
- 7月10日(日) 第240回市響 交響楽の午後 市川市文化会館  
 \* 曲目 ピエルネ/ハープ協奏曲 ブルックナー/交響曲第4番「ロマンティック」  
 出演 指揮：早川正昭 ハープ：早川利佐子 管弦楽：市川交響楽団
- 8月28日(日) 第241回市響 市川交響吹奏楽団 納涼コンサート 市川市文化会館
- 10月2日(日) 第242回市響 合唱の集い 市川市文化会館  
 \* 出演 指揮：村上正治 合唱：市川混声合唱団、行徳混声合唱団
- 10月23日(日) 第243回市響 ファミリー交響楽コンサート 市川市文化会館
- 12月18日(日) 市川市制60周年記念・第九演奏会 市川市文化会館  
 \* 曲目 ベートーヴェン/第九交響曲  
 市民参加の合唱団、オーケストラによる第九演奏会

## 平成5年度 市川交響楽団役員及び演奏会スタッフ

団 長	村上正治	副 団 長	横田行雄	練習指揮	吉田裕史
幹事長	時田 雄	コンサートマスター	松山和子	脚 本	榎本孝一郎
総 務	越塚康央	管・打楽器チーフ	木村純一	デザイン	田代安正
会 計	石本恵理	広 報	堤 哲児	イラスト	水谷恵美
会 計	木村真諭紀	企 画	嶋村恒夫	編 集	亀尾真理
渉 外	中村公一	庶 務	亀井玲子	衣 裳	伊藤和子
事務局	半藤嗣人	管 財	高橋行継	衣 裳	武井みさ



# 訃 報

去る12月1日、坂逸郎先生がお亡くなりになりました。享年81才。ご冥福をお祈りいたします。



## 坂逸郎先生の経歴

大正元年12月岐阜県に生れる。海軍軍楽隊委託学生として東京音楽学校(現東京芸術大学音楽学部)に学び、東京交響樂團を経て、NHK交響樂團主席オーボエ奏者を務める。N響を定年退職後、各地の吹奏樂團、オーケストラの指揮や若手オーボエ奏者の育成に活躍。市川近隣の小学校、中学校、高校、又千葉商科大学吹奏樂團研究部へも、足を運ばれ吹奏樂團のレベル向上に力を注ぎ、篤い信望を得ていた。市響には、創立以来絶大な御協力をいただき、特に市川交響吹奏樂團へは、常任指揮者時代を含め、20年を超える長きに渡り、暖かい御指導をいただきました。市川交響樂團団友。

## 弔 辞

悲しい御知らせをしなければならぬ事を残念に思います。それは市川交響吹奏樂團を愛し、ご尽力下さいました坂逸郎先生が、去る12月1日の早朝にご他界されました。故坂逸郎先生の霊に心から御悼み申し上げます。

故坂先生と私とのお交りは市川交響樂團が昭和26年2月11日に誕生し、同年7月20日に市川交響樂團協会を結成させた発会式での演奏と、同年11月25日に実施した第1回市響コンサートの応援奏者として出演された時からです。当時は東京交響樂團のオーボエ奏者でしたが、綺麗な音を出して下さいました。嬉しゅうございました。その後N響に入団されてからは、ご多忙で出演されず、ご友人やお弟子さん達を紹介して下さい、市響は大助りました。先生の愛弟子で現在国立音楽大学の教授であり、N響オーボエ奏者の丸山盛三氏なども、その時のお一人です。

N響を定年退職されてからは、私を扶けて無報酬で市川交響吹奏樂團の常任指揮者となり、現在の様な優秀な樂團に育てて下さいました。その期間は20数年になります。この夏のコンサートも、初めは指揮をされる予定でしたが、病気の快復が思わしくなく、佐藤宗男(市響団員でトランペット奏者、指揮者)氏に任せ、不自由な身体をおして客席で聴いて下さったその愛情には、関係者一同深く感激しました。千葉県内の大部分のオーボエ奏者が坂先生のご指導を受けない者が居ない程、大勢の人達がお世話になりました。特に市吹のメンバーは、よくご家庭にもお邪魔してご馳走になり、他の楽器の人達も音楽造りを通して良い感化を受け、皆感謝し、尊敬しております。先日のお通夜や葬儀に秋田や青森から駆けつけた人がいるなど、古い団員が多数集った事なども、その証です。

今年の2月に奥様に先立たれ、お淋しい九ヶ月間だったと御察し申し上げます。どうぞ奥様と共に、永遠の世界で安らかにお過ごし下さい。

平成5年12月19日

市川交響樂團協会一同を代表して

理事長 村上 正 治